



初日のパレードに参加した訪問団の皆さん。  
右から2番目がルッツ市長



高校の歓迎会であいさつする  
クリスティーネ先生⑤と学生たち



歓迎・交流パーティーで葛巻さんさ踊りを披露



交流ボランティアのリンケ夫妻④、  
ローゼブロック夫妻に感謝状を贈呈



ワイン技術交流で3カ月  
間、町に滞在するマーテ  
イン・フロイントさん

ドイツのバードデュルクハイム市の訪問団が9月22日  
から27日まで町に滞在し、町民との交流を深めました。  
特産のワインがとりもつ縁で、昨年は葛巻高校生が同市  
を訪問。今回は第三セクターの葛巻高原食品加工株式会  
社（社長・中村哲雄町長）が招き、交流が実現しました。

# ワインが友好の懸け橋

## ドイツバードデュルクハイム市訪問団が来町

訪問団は、同市のヴォルフガ  
ング・ルッツ市長をはじめ、ワ  
インプリンセス、十五〜二十歳  
のギムナジウム（小学五年生か  
ら高校生まで通う学校）の学生  
六人の十五人。  
初日の二十三日は、秋まつり  
に参加し、町民と触れ合いのひ  
とときを過ごしました。ふれあ  
い宿舎グリーンテージで開かれ  
た歓迎・交流パーティーで、中  
村町長は「物質的なものだけ  
なく、人間同士の交流、文化的  
な交流につながることに期待し  
たい」とあいさつしました。  
ルッツ市長も「目先のつなが  
りだけでなく、若者たちの将来  
につながる交流とし、これから

も長く続けたい」と応えました。  
二十六日は、学生六人が葛巻  
高校の授業に参加。ホームステ  
イ先の生徒と一緒に、藍染めの  
ハンカチづくり、町食生活改善  
推進員から「ひつつみ」の作り  
方を教わりました。午後からは  
書道に挑戦。柔道や剣道の部活  
動も見学しました。  
葛巻が「ミルクとワインの旅」  
を始めてから九年。同市と研修  
視察などを通じた民間交流を行  
ってから三年になります。さま  
ざまな人たちの力添えで結ばれ  
た縁が距離や言葉の壁を乗り越  
え、子どもたちの夢や可能性を  
相互に広げる機会につながるこ  
とが願われます。



自分の書きたい字を選び、扇子に書くドイツの学生。  
サポート役はホームステイ先の角口幸さん（高2）



高校の歓迎会で権現舞を演じる郷土芸能部